所報

題字：武田満之校長（平成９年、野幌中学校）

第175号　令和4年4月17日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6　TEL381-1058

（主な内容）
・令和５年度江別市公立小中学校の教育活動スタートにあたって

江別市教育委員会教育長　黒　川　淳　司

令和５年度江別市公立小中学校の教育活動スタートにあたって

江別の教育も「新時代」の到来

江別市教育委員会教育長　黒　川　淳　司

■スタート！　江別市の小中一貫教育

これまで各学校が小中一貫教育の開始に向けた準備に、精力的に取り組んでこられたことに対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

すでに様々な実践が行われており、「本格スタート前であることが信じられない！」との声もたくさんいただいております。

新時代の到来です。すでに完成している令和５年度の中学校区ごとのタイムスケジュールに則り、必要に応じた工夫・改善を加えながらの取組に心からご期待申し上げます。

今年度は幼保こ小の連携についても、さらに一歩進めたいと考えています。

■GIGA スクール構想の進展

小学校１年生からタブレット端末を操作する授業を、10 年前は誰も想像できなかったのではないでしょうか。

新時代の到来です。江別市では今年度、教員用の校務用パソコンを引き揚げ、仮想化によるタブレット端末に一本化します。C4th やデジタル教科書、学習 e-ポータルのコンテンツなど、職員室・教室・自宅のどこからでもアクセスできる状況にしていきます。江別市情報教育推進ガイドラインを拠りどころとして、各学年でめざす姿を再確認しながらの取組をよろしくお願い申し上げます。

■いじめに対する認識

一昔前は、「子ども同士の言い合いや口げんか、トラブルは普通にあることで、それはいじめとは全く別ものである」というような感覚が多くの教職員の常識的な捉え方でした。

新時代の到来です。今日においては、いじめと認識すべき内容についての考え方は変わって来ています。多くの事例を再度学習し直してほしいと思います。積極的認知ができていない学校は恥ずべき時代であり、めざすのは「見逃し０（ゼロ）」です。体罰や教師による暴言等も根絶していくことが必要です。

■不登校・登校しぶりの子をどう支援するか

「不登校の大多数は怠け心によるもので、問題行動の一つであり、解消すべきもの」との感覚がいまだに消えない先生もいらっしゃるようだとお聞きします。

新時代の到来です。「教育機会の確保に関する法律」（平成 28）の施行により、学校や地方公共団体の責務は「その子をどう支援するか」であり、令和５年度は市内全８中学校で、校内における登校支援室の設置と運営を行っていただけると聞き、たいへん嬉しく思うとともに、心から感謝を申し上げます。

■特別な支援を必要とする子どもたちに

その時々にどのような支援が最適であるかを十分によく考えることが重要であることはもちろんですが、私はこれからの時代においては、例えば高等支援学校までが「教育」の責任であり、その後のことは関知しないという仕組みを変えていく必要であるのではないかと感じています。高等教育を中退せざるを得なかった子、就職したが「くび」になってしまった子、就職自体がなかなかできない子などに対して、学び直したり再度挑戦したりしていくことのできる環境づくりに、江別市として役立つ方法はないか、検討していきたいと考えています。進学後や卒業後のことについても保護者にアドバイスできる「プロフェッショナルとしての側面」も学校に期待しております。

■働き方改革

ごくわずかではありますが、一部には、コロナ禍で中止や規模を縮小してきた行事等の内容を、「先生方が楽をしようとして、規模縮小のまま定着させようとしている」というような批判的な声が聞かれることがあり、とても残念に思います。そんな事実はないと思っていますが、もしも仮に、子どもに身に付けさせたい資質や能力といった観点でなく、「教師の業務を軽減するために」という考え方から、例えば行事の日程や授業時数を大幅に削減する計画であるとしたならば、江別市教育委員会としては賛成はできません。

人的な支援こそが各学校の働き方の改善につながる最大の要素であり、教育委員会として引き続き力を注ぎます。江別市働き方改革推進計画（第２期）に基づき、全 25 校の支援に取り組みます。授業をはじめとした教育活動の質を落とさず、むしろ充実させようと努力している一人一人の皆さんに報いるための方策に、今後も正面から取り組んでまいります。

令和５年度の江別市の教育をよろしくお願いいたします。

江別市教育研究所は、教育の理論や実践についての専門的研究を行い、教育の進展と充実を図ることを目的とし、昭和３０年に設立され、今日に至っています。

令和５年度も、市内各校の協力を得ながら、「夏期セミナー」などの教職員研修の実施や、児童生徒の意識調査をまとめた「調査研究報告書」の発行、小学校外国語教育の充実に向けた協議会運営に取組んで参ります。また、教育研究所の活動を「所報」にて随時紹介し、情報提供にも努めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。